

# けみかわの宮



第109号

平成29年7月1日発行

下総之國 神祇三社 検見川神社々務所

〒262-0023

千葉県花見川区検見川町1-1

TEL 043 (273) 0001(代)

FAX 043 (273) 0002



## 例祭・ほおづき市のご案内

八月一日(火)～三日(木)



八月一日～三日、三日間に亘って恒例の神社例祭が執り行われます。

例祭は主祭神スサノヲノミコトをお祀りする祭典で当神社年中行事の中でも最大の行事であると共に、この三日間は検見川町内の夏祭りとして古くから親しまれており、例年大勢の人達で賑わいます。

八月一日は大祭式に則った祭典が斎行され、夕刻、主祭神を祀った神輿が町内に繰り出し神輿渡御がはじまります。

若い男性に担がれた神輿のみみあげは勇壮そのもので、町内は一気にお祭りムードとなります。神輿は三日午前まで仮殿に入御しますが、町内には数多くの出店が所狭しと立ち並び、夜遅くまで賑わいます。

とくに、三日夜の境内での神輿もみ上げは、多勢の参拝者の中神人一体の雰囲気醸し出す、とても素晴らしいものです。

### ほおづき市

例祭期間中、境内ではほおづき市が開催されます。このほおづき市も平成二十三年から数えて七回目となります。大前に鉢入り・短冊つきのほおづきが並べられ、夏を彩る風物詩として清涼感を漂わせます。境内東参道には屋台店も出店します。皆様是非、例祭・ほおづき市にお越し下さい。



平成二十九年 例祭 日程

七月三十一日(月)

例祭前日祭 ……9:00

八月一日(火)

例 祭 ……10:00

遷霊祭 ……17:10

発輿祭 ……17:40

発 輿 ……18:00

仮殿祭 ……22:00

八月二日(水)

仮殿朝御饗祭 ……7:00

若葉会子供神輿山車巡行

安全祈願祭 ……8:30

子供神輿、山車巡行

……9:00

仮殿夕御饗祭 ……20:00

八月三日(木)

仮殿発輿祭 ……14:30

仮殿発輿 ……14:45

御旅所着御 ……15:45

御旅所祭 ……16:00

御旅所発輿 ……16:15

年番町会渡御及び発輿

18:30~20:30

還 幸 ……21:00

還幸祭 ……21:30

神輿渡御

第一日目の一日夕刻、遷霊祭が斎行されます。これは、ご本殿に鎮座まします主祭神の御霊を神輿にお遷しする神事です。遷霊祭のあと神輿の無事なる渡御を祈念する発輿祭が行われ、神輿は若い男性に担がれ急峻な階段を下り氏子地区を巡回する旅に出ます。神輿渡御です。

鳥居を出ると集った大勢の人達の歓声が上がり一挙に祭りの雰囲気が高まります。

神輿は町内の一丁目、二丁目を練り進み、午後九時二丁目に設けられた仮殿に着御し、一日目の渡御が終わります。



夜店風景

二日目

神輿は仮殿に入御のまま終日神社職員によってお守りされます。

二日目は八時より若葉会子供神輿及び山車の巡行が行われます。子供神輿は将来の神輿のかつき手となる氏子の子供達がかつき神輿です。小さいながらも



みごとな装飾が施され、祭りに親しみと愛着そして微笑みを添えてくれます。

午後には検見小フレンズによる金管パレードが仮殿前の通りで披露され、山車の上では検見川神社神楽囃子連の人達が、御

三日目

午後三時仮殿発輿祭が行われ、神輿が動き出し、神輿は五丁目の御旅所まで練り動き午後四時御旅所祭が斎行され、帰路につきます。午後九時神輿は社頭に還幸し境内で最後ののみ上げが行われますが、この光景も見事なものであります。境内にあふれんばかりの大勢の人達の中で投光器に照らし出された大きな神輿が大前で揺れ動く様子は、旅を楽しまれた神様が人びとの別れを惜しんでいるような感じを与えてくれます。

午後九時三十分還幸祭が斎行され、三日間の夏祭りは終りを告げます。





五月二十七日(土)

# 植樹祭齋行

五月二十七日(土)午後二時より  
当神社にて平成二十九年植樹祭  
が斎行されました。

植樹祭は、毎年献木奉賛者の  
皆様方から賜りました御浄財を  
もとに御神域に相応しい樹を選  
び境内に植栽し、その樹木の無  
事なる成長と植樹に係わられる  
皆様方の御多幸と弥栄を祈念す  
る祭典です。

拜殿での祭典のあと、参列者  
は東参道の植栽の場に移動し、  
記念の盛土を行いました。

その後、客殿において参列者  
皆様方による直会が開かれ、ご  
歓談をお楽しみになりました。



奉賛者による記念樹の盛土

☆今年の記念樹 柀(ヒイラギ)

今年には記念樹として柀(ヒイ  
ラギ)が選ばれました。

ヒイラギはモクセイ科の常緑  
樹で日本、台湾など比較的温暖  
な地域に分布する樹です。

日本では節分の風習として、  
イワシの頭をヒイラギの枝に刺  
して玄關に飾り付け、魔除け  
とすることがよく知られていま

す。これは、ヒイラギの葉のト  
ゲやイワシの悪臭で邪霊や疫病  
を防ごうとするものです。この  
風習は古代から続くもので、紀  
貫之の『土佐日記』にもヒイラ  
ギが正月の厄除に使われていた  
ことが記されています。

ヒイラギの材質は固く、木材  
として櫛や将棋の駒、そろばん  
の玉などに使われています。ま  
た、ヒイラギは庭園にも多く植  
えられ、人々に親しまれていま  
す。

このヒイラギを、神社の境内  
に相応しい樹として立派に成長  
するよう手入れを心掛けていく  
所存です。

# 全国清々会総会に参加

六月八日・九日の二日間にか  
け、京都市東山区祇園町の八坂  
神社に於いて全国清々会の総会  
が開催されました。全国清々会  
とは八坂神社などスサノヲノミ  
コトを御祭神とする神社の全国  
組織で、今年で設立六十六年を  
数えます。改修直後の麗しい朱  
塗りの楼門をくぐり一同参集す  
るとまず、八坂神社本殿で総会  
奉告祭を斎行致しました。その  
のち常盤神殿二階の会議室に移  
り前年度の活動報告や予算の審  
議が執り行われ、午後から特別  
講演と各社宮司からの研究発表  
が開かれました。

下側近の回顧など普段我々の知  
り得ない切り口で「国事行為」  
「象徴としてのおつとめ」「宮  
中祭祀」など陛下の様々なおつ  
とめをご説明頂き昨年八月八日  
のおことばの裏側をお話し頂き  
ました。

第二部の研究発表では各社宮  
司様から日々お社を護持運営す  
るにあたり必要な心構えや工夫  
など多岐に亘る発表で、長年  
培ってきた経験を基に様々な分  
野に意見を交わす貴重な場とな  
りました。

二日目は八坂神社の朝拝に参  
加させて頂き、職員皆様のお見  
送りの中バスに乗り込み京都府  
南東、八幡市に鎮座する石清水  
八幡宮に参詣致しました。

その後はサントリービル工  
場と松花堂美術館など巡り帰路  
につき、拝聴した講義と各神社  
のことに想いを馳せながらけみ  
がわの宮に帰社したのでした。

(権祐宜 足立 望)



八坂神社

今回は京  
都産業大学  
名誉教授所  
功先生をお  
招きし「象  
徴天皇と高  
齢化社会の  
在り方を考  
える」と題  
して今上陛

神道のことば

慎<sup>つつし</sup>みて

おこた 怒<sup>おこた</sup>ること 莫<sup>なつか</sup>れ

『古語拾遺』

人間は常に身を慎み、なまけることなく精進を重ねなさい。それ以外に成功への道はありません。

七月・八月祭典行事

七月

十七日 海上安全祈願祭  
二十五日 兼務社愛宕神社例祭  
三十一日 例祭前日祭

八月

一日 例祭  
一日～三日 神輿渡御

毎月一・十五日 月次祭  
毎月二十九日 交通安全祈願祭

# 打瀬船と検見川神社

検見川は昔、半農半漁の町でした。

現在では埋立てにより、海岸線は遠くなくなってしまいましたが、昭和四十年くらいまでは当神社のすぐ南側まで海が迫っていました。

かつて検見川は大型帆船「打瀬船」保有台数一位を誇る大きな港町でした。大正の最盛期には一五〇艘以上あり、多くの打瀬船が朝夕に白帆を張り出船入船する光景はまことに見事で、東京湾の風物詩であったと伝えられています。

かつて検見川の港は、この打瀬船を用いた漁で栄えました。

季節によって  
十二月〜一月 芝エビ、カレイ  
二月 小赤貝

三月〜八月 トリ貝、渡り蟹  
九月〜十二月 赤貝、渡り蟹

などの魚貝類が豊かに獲れたそうです。とくに検見川の特産品として赤貝が有名で「けみがわ」といえば赤貝のことを指す言葉として広く使われていました。



## 九星の性格と適職

本命星	性 格	適 職
<b>一白水星</b> S 2, 11, 20, 29, 38, 47, 56 H 2, 11, 20, 29生	物腰が柔らかく、社交的で周囲の人から好感をもたれます。仕事熱心で努力家。	法律関係、哲学者、作家、教師、飲食業、水産業、海運関係
<b>二黒土星</b> S 1, 10, 19, 28, 37, 46, 55 H 1, 10, 19, 28生	真面目で控えめ。華やかさはないが、縁の下の力持ちとして自分の役目をしっかり果たします。	農業、不動産関係、保育関係、建築業、産婦人科、古物商
<b>三碧木星</b> T14 S9, 18, 27, 36, 45, 54, 63 H9, 18, 27生	明るく前向きで、じっとしていることが苦手な行動派。ユーモアもあって周囲の人から可愛がられます。	電気、音楽、外科医、神経科医、広告業、青果業、放送、通信
<b>四緑木星</b> T13 S 8, 17, 26, 35, 44, 53, 62 H8, 17, 26生	穏やかで、周囲の和を大切にし、人をまとめる力があり、信頼を集めます。	旅行業、情報、海運業、建設業、木材業、航空、木工芸、出版業
<b>五黄土星</b> T12 S 7, 16, 25, 34, 43, 52, 61 H7, 16, 25生	頭の回転がはやく、積極的で行動力があります。人を引っ張っていくリーダーの資質があります。	神職、僧侶、政治家、建設業、教育者、弁護士、医者、金融業
<b>六白金星</b> T11 S 6, 15, 24, 33, 42, 51, 60 H6, 15, 24生	頭脳明晰で性格も良く、自分から理想に突き進んでいくタイプ。負けず嫌いな努力家。	神職、警察官、自衛官、公務員、僧侶、政治家、教育者、銀行員
<b>七赤金星</b> T10 S 5, 14, 23, 32, 41, 50, 59 H5, 14, 23生	派手好きで人の付き合いもよく、社交的。発想が柔軟で、センスも抜群。	飲食業、講師、金融、外科医、歯科医、レジャー関係
<b>八白土星</b> T 9 S 4, 13, 22, 31, 40, 49, 58 H4, 13, 22生	意思が強く、慎重な性格。責任感が強く、頑固で強情な一面がある一方、心優しく涙もろい。	神職、僧侶、不動産、ホテル業、弁護士、教育者、警察官
<b>九紫火星</b> T 8 S 3, 12, 21, 30, 39, 48, 57 H3, 12, 21生	陽気でおしゃれ、直観力に優れ、理想をどこまでも追いかける情熱を秘めています。	眼科医、芸能関係、理容、美容、出版業、マスコミ関係、作家

(『神祇三社本暦』他より)



# 七月・八月の運勢

〔注意〕

各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日日前には二歳、誕生日以後には一歳を差し引けば得られる。アラビア数字は、ことしの誕生日以後の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

## 九星

平成二十九年各人数え年・生年・干支・九星見表

六白金星	七赤金星	八白土星	九紫火星
数え 96歳 1922年 大正11年生	数え 97歳 1921年 大正10年生	数え 98歳 1920年 大正 9 年生	数え 99歳 1919年 大正 8 年生
数え 87歳 1931年 昭和 6 年生	数え 88歳 1930年 昭和 5 年生	数え 89歳 1929年 昭和 4 年生	数え 90歳 1928年 昭和 3 年生
数え 78歳 1940年 昭和15年生	数え 79歳 1939年 昭和14年生	数え 80歳 1938年 昭和13年生	数え 81歳 1937年 昭和12年生
数え 69歳 1949年 昭和24年生	数え 70歳 1948年 昭和23年生	数え 71歳 1947年 昭和22年生	数え 72歳 1946年 昭和21年生
数え 60歳 1958年 昭和33年生	数え 61歳 1957年 昭和32年生	数え 62歳 1956年 昭和31年生	数え 63歳 1955年 昭和30年生
数え 51歳 1967年 昭和42年生	数え 52歳 1966年 昭和41年生	数え 53歳 1965年 昭和40年生	数え 54歳 1964年 昭和39年生
数え 42歳 1976年 昭和51年生	数え 43歳 1975年 昭和50年生	数え 44歳 1974年 昭和49年生	数え 45歳 1973年 昭和48年生
数え 33歳 1985年 昭和60年生	数え 34歳 1984年 昭和59年生	数え 35歳 1983年 昭和58年生	数え 36歳 1982年 昭和57年生
数え 24歳 1994年 平成 6 年生	数え 25歳 1993年 平成 5 年生	数え 26歳 1992年 平成 4 年生	数え 27歳 1991年 平成 3 年生
数え 15歳 2003年 平成15年生	数え 16歳 2002年 平成14年生	数え 17歳 2001年 平成13年生	数え 18歳 2000年 平成12年生
数え 6歳 2012年 平成24年生	数え 7歳 2011年 平成23年生	数え 8歳 2010年 平成22年生	数え 9歳 2009年 平成21年生

## 七月の運勢

〔丁未三碧木星気性中宮の月 七月五日より八月五日迄〕

どちらかと言えば積極的に行くよりも、消極的でも堅実な動きをする事が良策の月です。あせればあせる程よくない方向に行きそうなので気をつけて。短気は損気を招きやすい。

物事が滞り気味になり、イライラします。物が落ち着いて。何事もコツコツじっくり行えばなんとか乗り切れるので、短気を起こさず冷静に。今は時間をかけても堅実な歩みが大事。

明るい運氣ですが見通しがよくないので無駄遣いせず後日のために蓄えて。何も考えずに見栄をはった行動を続けると、取り返しのつかないことになる。収支のバランスを考えて。

徐々に下降気味になりそうな月なので、一気に進まず、丁寧な行動を心掛けて下さい。物事が予定通りに進まないからといって焦らない様に。見晴らしは良いので上手に乗り切つて。

## 八月の運勢

〔戊申二黒土星気性中宮の月 八月六日より九月五日迄〕

物事が良い流れに乗り、活動的な運氣となりそうです。新規事や拡張等は順調なすべり出しをするでしょう。但し、動きが良いからといって周りを無視して進めば嫌われて孤立する。

先の見晴しは良くとも、まだ少し不安定な状態が続くそうなので、無理な動きはせず、自分の能力の範囲内の行動をすること。積極的に進みたい気持ちはわかりますが、おさえて。

月初めはさほどではありませんが、半ばすぎより物事が遅れ気味になってくるので、あらかじめこの点に注意して行動する様に。無理・無茶な行動はせず堅実な歩みを。猛進は凶。

表面のみよく、内実が伴わない月となりそうです。目先の欲に、惑わされそうな運氣なので、物事の本質をしっかりと見極めて。甘い話、おいしい話には、軽々しく乗らないこと。



一 白 水 星	二 黒 土 星	三 碧 木 星	四 緑 木 星	五 黄 土 星
数え 91歳 1927年 昭和 2 年生	数え 92歳 1926年 昭和元年生	数え 93歳 1925年 大正14年生	数え 94歳 1924年 大正13年生	数え 95歳 1923年 大正12年生
数え 82歳 1936年 昭和11年生	数え 83歳 1935年 昭和10年生	数え 84歳 1934年 昭和 9 年生	数え 85歳 1933年 昭和 8 年生	数え 86歳 1932年 昭和 7 年生
数え 73歳 1945年 昭和20年生	数え 74歳 1944年 昭和19年生	数え 75歳 1943年 昭和18年生	数え 76歳 1942年 昭和17年生	数え 77歳 1941年 昭和16年生
数え 64歳 1954年 昭和29年生	数え 65歳 1953年 昭和28年生	数え 66歳 1952年 昭和27年生	数え 67歳 1951年 昭和26年生	数え 68歳 1950年 昭和25年生
数え 55歳 1963年 昭和38年生	数え 56歳 1962年 昭和37年生	数え 57歳 1961年 昭和36年生	数え 58歳 1960年 昭和35年生	数え 59歳 1959年 昭和34年生
数え 46歳 1972年 昭和47年生	数え 47歳 1971年 昭和46年生	数え 48歳 1970年 昭和45年生	数え 49歳 1969年 昭和44年生	数え 50歳 1968年 昭和43年生
数え 37歳 1981年 昭和56年生	数え 38歳 1980年 昭和55年生	数え 39歳 1979年 昭和54年生	数え 40歳 1978年 昭和53年生	数え 41歳 1977年 昭和52年生
数え 28歳 1990年 平成 2 年生	数え 29歳 1989年 平成元年生	数え 30歳 1988年 昭和63年生	数え 31歳 1987年 昭和62年生	数え 32歳 1986年 昭和61年生
数え 19歳 1999年 平成11年生	数え 20歳 1998年 平成10年生	数え 21歳 1997年 平成 9 年生	数え 22歳 1996年 平成 8 年生	数え 23歳 1995年 平成 7 年生
数え 10歳 2008年 平成20年生	数え 11歳 2007年 平成19年生	数え 12歳 2006年 平成18年生	数え 13歳 2005年 平成17年生	数え 14歳 2004年 平成16年生
数え 1歳 2017年 平成29年生	数え 2歳 2016年 平成28年生	数え 3歳 2015年 平成27年生	数え 4歳 2014年 平成26年生	数え 5歳 2013年 平成25年生
<p>希望にもえる月ですが悩み事や難問が多くむずかしいときなので、今は計画までとし実行は後日に。迷ったり悩んだりした時は素直に相談を。欲に迷って動く破運に繋がるので注意。</p>	<p>引き継ぎがうまく運び、よい月になりそうです。物事がよく整い、ひとつの結果として表れます。かなり期待がもてるから、更なる努力を続けて。独身者は、あらたな出会いあり。</p>	<p>人気・信用が高まりますが、調子に乗ると自己中心的になりやすくなるので、気をつけて。自信をもつことは良いことですが、過剰になると嫌われて孤立する。自惚れはケガの元。</p>	<p>あせって即断・即決する傾向があるので物事を表面のみで判断せず、本質まで良く見るように心掛けること。今は時間がかかって、諸事熟慮に熟慮を重ねて。焦ると損失を招く。</p>	<p>喜び事が重なり楽しみの多い月となりそうです。但し、流れが良いからといって気をゆるめると、よくないので引き締めて。うかれたり調子に乗ったりすると、良い運氣が遠ざかる。</p>
<p>物事が吉風という上昇気流に乗って、良い方向に動きそうです。事業等も思った以上に商談が成立して、良い結果を残すでしょう。独身者は良縁に恵まれるのでチャンスを手握んで。</p>	<p>周囲の事が良く見える月なので、よく観察を。色々と手を出したくなりますが、少し辛抱して下さい。内側が弱い傾向があるから、今は前に行くばかりではなく、内容・内側の充実を。</p>	<p>好調ですが慌てて飛び出すと、つまずくから落ち着いて。冷静になればなんでもない事でも焦ると出来なくなる。折角の良運なのでよく考え上手に用いて。短気は禁物。冷静沈着に。</p>	<p>努力が認められ実りのある月となりますが、まだ本格的な運氣ではないので更なる努力を続けて機会を掴んで下さい。認められたからといって、うかれて油断すると流れが変わる。</p>	<p>妨害・邪魔といったことが多くなりそうですね。周囲の変化には気をつけて。事業等も競争相手の出現により、色々と影響が出そうです。今は強行手段よりも堅実・確実な方法を。</p>

検見川小学校六年生

# 「神社写生会」

六月七日、検見川小学校六年生児童の皆さんによる写生会が神社境内にて開催されました。

当日は好天に恵まれ、新緑の蒼々とした鎮守の杜を背景に御社殿、御神水、寄宮など、それぞれ思い思いの場所で皆さん熱心に絵を描いていました。

四月にも打瀬小学校六年生による写生会が開催されています。

# 新人職員(巫女)紹介

今年の春、当神社は六名の新人職員(巫女)を迎えました。現在、巫女舞はじめ、礼儀作法、参拝者の接遇、事務など各種研修に励んでおります。参拝者の皆様に気持ちよくお参りいただけるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



大和、南里、石井、田邊、宮田、荒川 (左から)

皆さんの作品が出来上がりましたら別途紹介したいと思います。



写生風景

## 授与品紹介

### ちまき守

当神社では、四月より十月までちまき守を頒布致しております。

夏越大祓式の茅の輪くぐり同様「茅」に由来するこのお守は家の門口につるし、一年間お祀りすることにより、疫病・災難から家を守り様々な厄難消除にご利益あるお守です。



初穂料 一〇〇〇円

授与所に備えてありますのでお気軽にお求め下さい。



### 一言成就御幣

大前の左側に置かれている一言御幣は検見川大明神の憑代よりしろです。

お願い事、お名前を記入のうえ箱に差し立て下さい。翌朝の日供祭で神職がそれぞれ願意、お名前を読み上げ拜殿にお祀りします。

初穂料 五〇〇円